

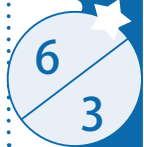


たわらもとウォッチング

まちのできごとを紹介します



豊作と無病息災を祈って、蛇を担ぐ 鍵・今里の蛇巻き



6月3日、五穀豊穡と無病息災を祈願する伝統神事「蛇巻き」が、鍵と今里で行われました。

鍵の蛇綱は稲わらを束ねて作られたもので、重さは約300kgにもなります。「いっせーの」のかけ声とともに、大人と子どもで頭を担ぎ上げ、ゆつくりと村内を練り歩きます。道中、尾を後ろへと引つ張る子どもたちに行く手を遮られつつも、しっかりと力強く進みました。その姿を見た見物客からは、大きな歓声と声援が上がっています。



▲重い頭を担ぎ村を巡る

〈鍵〉
▼子どもたちによって後ろへ引つ張られる



▲家々を巡りお祝い

〈今里〉
▼蛇に巻き込まれた人たち



今里では、麦わらを編んで作られた長さ18mになる蛇綱を、子どもたちが担ぎ村内を巡行しました。村中の家々を訪れ、「おめでとう」と大きな声を上げお祝いしました。途中、蛇が急に暴れ出し、近くにいた人をぐるぐると巻き込みました。巻かれた場合、その一年無病息災で過ごせるといわれているため、巻かれた人も笑顔を見せていました。蛇の勢いに驚きながらも、見物客はその様子を楽しんでいました。

町民意見箱に寄せられた皆さんの声



町民意見箱に寄せられた「ご意見・ご提案」に対し、お答えします。貴重なご意見・ご提案をいただき、ありがとうございます。

意見の概要

デジタルMCA同報通信システムの試験放送について、試験放送の目的は何ですか。聞こえない方もおられます。障がい者や高齢者の方の中には、移動できない方もいます。災害時要援護者に対してどう考えていますか。

回答

「デジタルMCA同報通信システム」は平成23年度に町内に設置させていただいた防災用放送設備です。

5月18日に実施させていただいた試験放送の目的は、この放送設備が正常に稼働するかどうか、また、音達範囲

や聞こえ具合を確認させていただいたためのものです。今後は、災害情報の伝達や防災訓練などで放送設備を使用していく予定です。

また、障がいのある方や高齢者などの災害時に援護が必要な方々に関しては、「災害時等要援護者台帳」の整備を進めています。

登録をされた方については、災害発生時に情報伝達や安否確認・避難誘導などの支援を行えるよう、今後自治会や自主防災組織などの関係機関との調整を進めていきます。

☎ 総務課安全防災係 ☎ 34・2059

町政やまちづくりに対するご提案・ご意見をお寄せください

町民の皆さんからの声を、町政やまちづくりに活かすため、町役場1階、町ホームページに「町民意見箱」を設置しています。より良いまちづくりを行っていくために、皆さんのご提案・ご意見をぜひお寄せください。

☎ 秘書広報課広報統計係 ☎ 34-2069